

令和元年度

内航船によるフィーダーコンテナ輸送 調査結果報告書

日本内航海運組合総連合会

基本政策小委員会

フィーダーコンテナワーキング・グループ

令和 2 年 10 月 21 日

目 次

1. 調査対象並びに調査時期について	1
(1) 回答について	1
(2) 船種について	1
(3) 事業者名及び対象船舶について	2
2. 調査結果について	
(1) 輸送実績の推移	3
(2) 地域別輸送量の推移	
①取扱量（積揚合計）の推移	4
②積地別の推移 ③揚地別の推移	5
(3) 港別取扱量（積揚の合計）の前年度との比較	6
(4) 各事業者からの特記事項	7
3. 概況トピックス	8
4. 韓国フィーダーの現況	
(図 4-1) 釜山港の対日コンテナ取扱実績	9

別紙付録：

◆事業者への調査依頼書・回答用紙

◆積地・揚地による集計結果 （コンテナ（合計・実入・空）別とコンテナ（20・40）別）

1. 調査対象並びに調査時期について

内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者の内、従前からの調査対象事業者 10 社に対して、令和 2 年 4 月～6 月において調査を実施した。

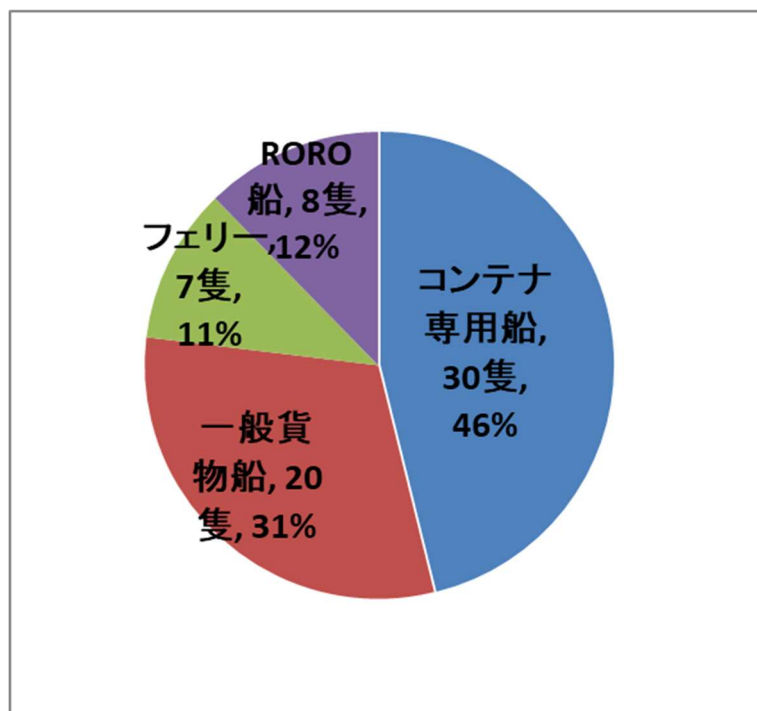
(1) 回答について

調査を依頼した 10 社（30 年度 12 社）のうち、10 社から回答を得られた。

(2) 船種について

コンテナ専用船 30 隻（30 年度 29 隻）一般貨物船 20 隻（30 年度 18 隻）、フェリー 7 隻（30 年度 9 隻）、RORO 船 8 隻（30 年度 7 隻）、その他 0 隻（30 年度 2 隻）であり、合計 65 隻（30 年度 65 隻）となり、前年度比で隻数は 100% で変わらずとなった。

船種	令和元年度	平成30年度	前年度比
	隻数	隻数	隻数
コンテナ専用船	30隻	29隻	103%
一般貨物船	20隻	18隻	111%
フェリー	7隻	9隻	78%
RORO船	8隻	7隻	114%
その他	0隻	2隻	0%
合計	65隻	65隻	100%



(3) 事業者名及び対象船舶について

令和元年度			
事業者名及び対象船舶一覧	(五十音順・令和2年3月現在)		
事業者名	対象船舶		
	船種	船型	隻数
(株)ユニエックスNCT	一般貨物船	499型	3
四国開発フェリー(株)	フェリー	14,759型	2
	フェリー	15,732型	1
鈴与海運(株)	一般貨物船	499型	7
	コンテナ専用船	749型	5
	コンテナ専用船	5,400型	1
井本商運(株)	一般貨物船	498型	3
	一般貨物船	499型	4
	一般貨物船	749型	3
	コンテナ専用船	498型	1
	コンテナ専用船	499型	3
	コンテナ専用船	749型	12
	コンテナ専用船	2,464型	1
	コンテナ専用船	2,479型	1
	コンテナ専用船	2,507型	1
	コンテナ専用船	7,390型	1
	コンテナ専用船	7,432型	1
近海郵船(株)*1	コンテナ専用船	499型	(2)
	コンテナ専用船	749型	(4)
	RORO船	11,299型	2
	コンテナ専用船	749型	1
阪九フェリー(株)	フェリー	13,353型	2
	フェリー	15,897型	2
	フェリー	16,300型	1
日本通運(株)	RORO船	10,470型	1
	RORO船	10,471型	1
	RORO船	10,497型	1
	RORO船	10,626型	2
(株) 横浜コンテナライン	コンテナ専用船	749型	1
ナラサキスタックス(株)*2	コンテナ専用船	7,390型	(1)
マツダロジスティクス(株)*2	コンテナ専用船	499型	(2)
	コンテナ専用船	749型	(2)

*1については鈴与海運（株）との共同運航であるため、隻数は鈴与海運（株）

*2については井本商運(株)との共同運航であるため、隻数は井本商運(株)に含

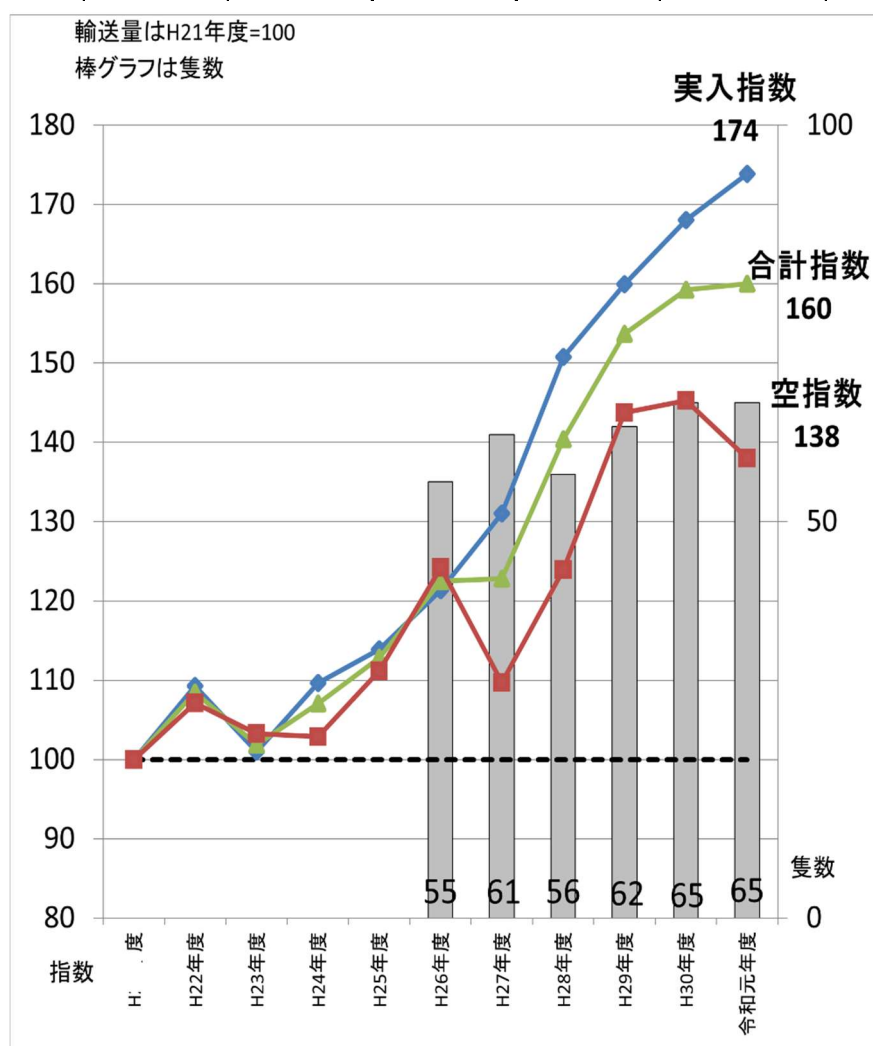
2. 調査結果について

(1) 過去5年間の輸送実績推移

令和元年度のフィーダーコンテナの輸送量は913,645 TEUで前年度の輸送量と変わらずとなった。このうち実入コンテナは609,483TEUで前年度比3%増、空コンテナは304,162 TEUで前年度比5%減であった。調査開始の平成21年度の実績を100とする指数で表示すると、合計指数は160、実入指数は174、空指数は138となっている。輸送に関わる船腹量については、棒グラフに示した通り前年度並みの65隻であった。

(単位：TEU)

種別/年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	前年度比
実入	459,429	528,452	560,727	589,103	609,483	103%
空	241,853	273,089	316,837	320,195	304,162	95%
実入指数	131	151	160	168	174	－
空指数	110	124	144	145	138	－
合計	701,282	801,541	877,564	909,298	913,645	100%
合計指数	123	140	154	159	160	－
隻数	61	56	62	65	65	



(2) 地域別輸送量の推移

① 取扱量（積揚合計）の推移

令和元年度の内航フィーダーコンテナの取扱量（積と揚の合計）は 1,827 千 TEU で前年度並みとなった。

地域毎の割合を見ると関西が全体の 31%を占め、次いで関東が 22%、中国地方が 17%と続き、前年度と同傾向となった。また、今年度は四国と東北の伸びが顕著となった一方、九州、北海道、中部、関西は落ち込みが見られた。関東は堅調な伸びを示した。

中国は調査開始より増加率が高い状態が継続していたが、前年度とほぼ変わらない。

(単位：TEU)

積揚合計	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	前年度比	割合
北海道	37,855	44,659	53,998	63,666	53,500	84%	3%
東北	124,602	127,422	163,208	151,063	174,565	116%	10%
関東	255,213	292,386	355,883	377,318	404,231	107%	22%
中部	91,238	116,950	119,920	121,310	115,091	95%	6%
関西	456,073	529,889	555,767	574,279	565,086	98%	31%
四国	81,483	88,004	96,567	79,651	98,836	124%	5%
中国	247,995	289,938	279,893	306,158	308,334	101%	17%
九州	107,985	113,834	129,892	145,151	107,647	74%	6%
沖縄	120	0	0	0	0	0%	0%
合計	1,402,564	1,603,082	1,755,128	1,818,596	1,827,290	100%	100%

*同一のコンテナを積と揚でそれぞれカウントしているため、輸送量の 2 倍になる。

②積地別の推移

四国、東北について前年度は減少に転じていたが回復した。中部、中国は順調に増加した。一方で、北海道、関西、九州は減少した。なかでも九州の落ち込みが大きいものとなった。

(単位：TEU)

積地	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	前年度比	割合
北海道	19,531	22,440	30,840	36,366	30,074	83%	3%
東北	59,856	62,816	80,426	76,792	87,313	114%	10%
関東	126,556	145,994	175,070	186,729	187,798	101%	21%
中部	47,795	57,716	58,653	60,245	70,431	117%	8%
関西	223,206	261,953	289,944	288,628	279,484	97%	31%
四国	43,496	45,038	47,090	41,735	50,945	122%	6%
中国	121,260	139,091	120,209	145,862	157,046	108%	17%
九州	59,582	66,493	75,332	72,941	50,554	69%	6%
沖縄	0	0	0	0	0	0	0
合計	701,282	801,541	877,564	909,298	913,645	100%	100%

③揚地別の推移

前年度比では四国、東北、関東で二桁の増加が見られた。関西は前年並みであるが、中部、九州、北海道、中国が減少した。

(単位：TEU)

揚地	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	前年度比	割合
北海道	18,324	22,219	23,158	27,300	23,426	86%	3%
東北	64,746	64,606	82,782	74,271	87,252	117%	10%
関東	128,657	146,392	180,813	190,589	216,433	114%	24%
中部	43,443	59,234	61,267	61,065	44,660	73%	5%
関西	232,867	267,936	265,823	285,651	285,602	100%	31%
四国	37,987	42,966	49,477	37,916	47,891	126%	5%
中国	126,735	150,847	159,684	160,296	151,288	94%	17%
九州	48,403	47,341	54,560	72,210	57,093	79%	6%
沖縄	120	0	0	0	0	0	0
合計	701,282	801,541	877,564	909,298	913,645	100%	100%

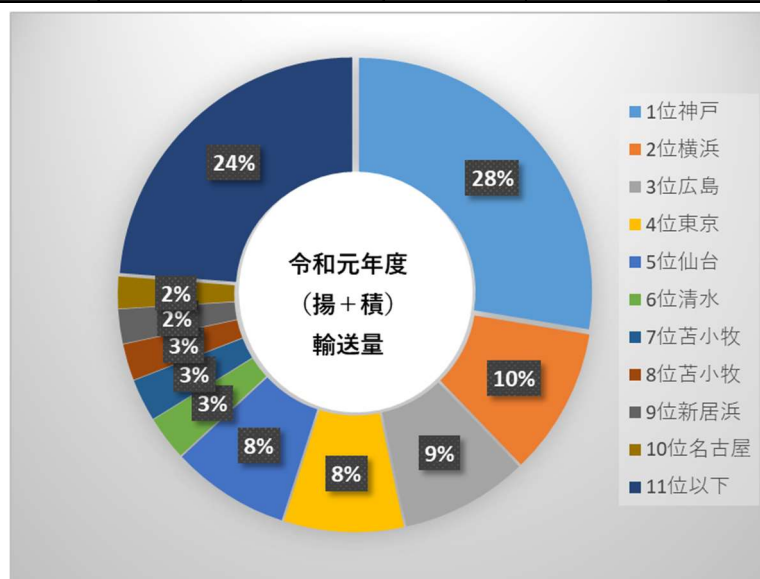
(3) 港別取扱量（積場の合計）の前年度との比較

神戸港が 505 千 TEU で 1 位となったが前年度比 2%減。続く横浜港、広島港も前年度比減少。東京港、仙台港、清水港は二桁増、大阪港も増加となった。新居浜港は前年度並みの一方で、苫小牧港、名古屋港は前年度から比べて減少。

(単位：TEU)

令和元年度【積＋揚】輸送量								
ランク	港名	令和元年度計	積/実入	積/空	揚/実入	揚/空	前年度比	前年度
1位	神戸	504,531	117,982	116,804	227,790	41,955	98%	514,369
2位	横浜	186,398	68,586	16,425	57,753	43,634	92%	202,109
3位	広島	161,399	74,986	2,178	21,445	62,790	97%	166,380
4位	東京	151,597	38,717	30,756	80,239	1,885	119%	127,049
5位	仙台	149,424	59,617	13,976	48,113	27,718	123%	121,444
6位	清水	56,178	32,844	5,477	12,369	5,488	121%	46,560
7位	苫小牧	53,398	8,674	21,400	21,720	1,604	84%	63,666
8位	大阪	46,096	3,095	33,513	7,680	1,808	105%	43,698
9位	新居浜	43,375	18,319	4,656	5,953	14,447	100%	43,359
10位	名古屋	40,308	22,131	1,078	7,447	9,652	83%	48,447
11位以下		434,586	164,532	57,899	118,974	93,181	100%	435,217
計		1,827,290	609,483	304,162	609,483	304,162	100%	1,818,596

ランク	港名	30年度計	積／実入	積／空	揚／実入	揚／空	前年度比
1位	神戸	514,369	119,006	122,097	230,508	42,758	103%
2位	横浜	202,109	71,102	25,396	60,911	44,700	110%
3位	広島	166,380	78,555	1,166	21,227	65,432	112%
4位	東京	127,049	35,723	32,582	55,576	3,168	82%
5位	仙台	121,444	47,822	13,044	44,436	16,142	97%
6位	苫小牧	63,666	9,207	27,159	26,200	1,100	118%
7位	博多	49,657	14,372	9,203	21,852	4,230	104%
8位	名古屋	48,447	23,304	811	6,890	17,442	83%
9位	清水	46,560	19,584	5,355	13,194	8,427	111%
10位	大阪	43,698	2,858	37,894	2,855	91	119%
11位以下		435,217	167,570	45,488	105,454	116,705	108%
計		1,818,596	589,103	320,195	589,103	320,195	104%



(4) 各事業社からの特記事項

- ・ 個数に関しては、最大荷主である自動車メーカーの海外工場向け貨物の増減の影響を受けております。
- ・ 伊予三島:輸出新案件を受注し輸送量増。横浜から名古屋への空コンテナ輸送の需要が大幅減。前年度と比べ全体的に空コンテナ輸送の需要が減となった。
- ・ 八戸港、定期的海外向け輸出貨物が 2019 年 10 月より減量、2020 年 1 月より出荷中断、空バンを含め輸送量減。仙台港、外航基幹航路の寄港中断により、接続貨物、空コンテナの輸送量減。
- ・ 2018 年 4 月発足の ONEJ(オーシャンネットワークエクスプレスジャパン)のサービス航路の一つである旧 PS1 航路（現 FP1）が 2019 年 4 月より仙台抜港となった。よって北米・仙台的輸送が内航フィーダーに流れたことが起因し、仙台・大井間の輸送量が増となった。
- ・ 苫小牧発、東京着 20FT 実入積載が、一部荷主の輸送ルート変更により数量減。
- ・ 外航船社の日本寄港地変更などにより輸送数量は増加した。西日本航路については神戸トランシップ貨物が減少。釜山など外地トランシップへ変更となった貨物が多くなった。

3. 概況トピックス

・令和元年度のフィーダーコンテナ輸送量は、実入りコンテナが前年度比 3%増加したのに対して空コンテナは 5%減少し、合計では前年度比微増（100.47%）であった。

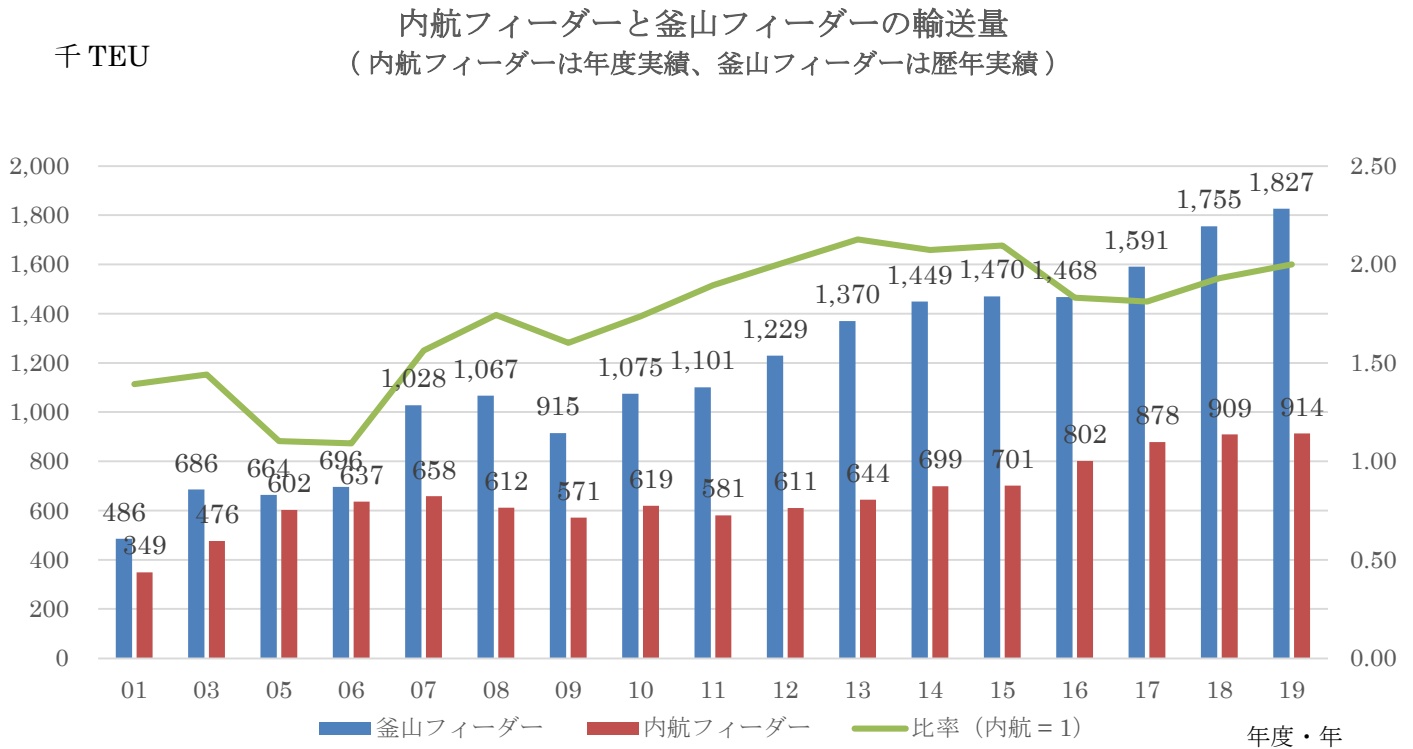
・地域別では四国（前年度比 19,185TEU/124%増）と東北（同 23,502TEU/116%増）が大きく伸びた。四国の増加は伊予三島からの新規の輸出案件によるもので、東北は外航母船が仙台抜港となり、北米～仙台の貨物がフィーダーで京浜接続になったことによると思われる。

・港湾別に見ると、フィーダーコンテナ取扱量が 10 万 TEU 以上あったのは神戸 504,531TEU（前年度比 2%減）、横浜 186,398TEU（同 8%減）、広島 161,399TEU（同 3%減）、東京 151,597TEU（同 19%増）、仙台 149,424TEU（同 23%増）の 5 港であった。この順位は昨年と変わらず、5 港合計で全体の 63%を占る。東京の増加の内訳は実入り揚げ 44,516TEU 増、空積み 27,588TEU 増、仙台は実入り積み 15,181TEU 増、空揚げ 14,674TEU 増で、いずれも上記の外航母船の仙台抜港が主因と思われる。

・上記の上位 5 港以外で上位 10 港に入るのは、清水 56,178TEU（前年度比 121%）、苫小牧 53,398TEU（84%）、大阪 46,096TEU（105%）、新居浜 43,375TEU（100%）、名古屋 40,308TEU（83%）。上位 10 港で全体の 76%を占める。清水は実入り積みが 19,650TEU 増加したが、これは東京の実入り積みが 16,859TEU 減っているのと同様である可能性があると考えられる。苫小牧は実入り揚げと空積みがそれぞれ 12,513TEU 増と 20,300TEU 増であった一方で、実入り積みと空揚げがそれぞれ 17,526TEU 減と 25,555TEU 減。名古屋は実入り積みと空揚げがそれぞれ 15,241TEU 増、8,841TEU 増であったが、実入り揚げと空積みがそれぞれ 15,857TEU 減、16,364TEU 減。

4. 韓国フィーダーの現況

(図4-1)



出典：日本海事新聞社（韓国 BPA 資料）

2019 年(暦年)の釜山フィーダーの輸送量は 1,827 千 TEU で、前年に比べて 4 % 増加した。これは 2019 年度の内航フィーダーの輸送量の 2.0 倍である。両者の差は 2012～2015 年・年度に 2 倍以上あり、その後 2016、2017 年・年度に 1.8 倍程度まで縮小していたが、再び差が開きつつある。また、この釜山フィーダー、すなわち釜山トランシップの実績は同時期の日韓貿易の輸送量 1,408TEU をも上回り、ハブ港湾としての釜山の立ち位置を象徴している。

付 録

付 録 目 次

調査依頼書について	1
回答用紙について	2～3
1. (1) 積地による集計結果 (R 元年度)	4
(2) 積地による集計結果 コンテナ (H29～R 元年度比較)	5
2. (1) 揚地による集計結果 (R 元年度)	6
(2) 揚地による集計結果 コンテナ (H29～R 元年度比較)	7
3. (1) 積地・揚地・コンテナ (20・40) 別による集計結果	8

内 航 総 連 第 1 号
令和 2 年 4 月 10 日

フィーダーコンテナ輸送
対象船社ご担当者 様

日本内航海運組合総連合会
基本政策推進小委員会
委員長 赤沼 宏

内航船によるフィーダーコンテナ輸送の調査について（お願い）

拝啓 春暖の候、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

題記の調査については、国際コンテナ戦略港湾で、スポークとなる国内フィーダー事業者が担う外航コンテナ二次輸送の重要性が指摘されているところでもあり、内航フィーダーの充実強化に係る種々施策の必要性を主張していく上で、本調査報告は今後益々貴重な価値を持つものと思料致します。

つきましては、例年通り令和 2 年度（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における標記に関する輸送量について、調査を下記の通り実施する運びとなりました。

ご担当者様には大変恐縮ですが、別紙調査回答票（Excel ファイル）にてご回答頂き、メールでご返信を頂きたくお願い申し上げます。

なお、ご回答頂いた内容に関しては輸送数量については公表を予定しておりますが、ご回答内容のデータ等は本調査の目的以外には利用せず、機密保持など、その取扱いには万全を期して実施致します。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念され、緊急事態宣言も発令されている最中ですので、現時点では事態の収束を見込んで例年に比べて 1 ヶ月ほど提出期限を延長しております。ご無理のない範囲でお願いしたいと考えております。

敬具

記

1. 提 出 期 限 : 令和 2 年 5 月 29 日（金）
2. 回 答 内 容 : 実際に輸送したコンテナ数量のうち、国内用コンテナを除いた
外航コンテナの二次輸送によるコンテナ数量
3. 問 い 合 わ せ : 日本内航海運組合総連合会 調査企画部 平田京子
提 出 先 TEL 03-3263-4630 ファクス 03-3263-4330
メールアドレス hira@naiko-kaiun.or.jp

以上

内航船による外航フィーダーコンテナ輸送量調査回答票

貴社名 TEL FAX FAX

e-mail	御担当者名
--------	-------

御担当者名

1. 以下、使用船舶についてご記入下さい。10隻以上ある場合は行をコピーをしてご記入下さい。

船種は必ず表示されるリストより選択してください。(船種が自動で表示されない場合は、キーボードの「F9」ボタンを押してください)

船種
一般貨物船
コンテナ船
RORO船
フェリー
その他

2. 以下、輸送されたコンテナの個数を各欄にご記入下さい。10件以上ある場合は行をコピーをして下さい。

TEU'は20'換算のことを言います。

TEUには40'の個数に2を乗じた個数と20'の個数の合計した個数を入力して下さい。

例えば、No1は【実入りコンテナ】のTEUには $(TEU=E34+F34 \times 2)$ 、【空コンテナ】のTEUには $(TEU=H34+I34 \times 2)$

【合計】のTEUはSUM関数で合計して下さい。

【 積地・揚地別 】			【 実入りコンテナ 】			【 空コンテナ 】			【 合 計 】		
NO	積地	揚地	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU
1					0			0	0	0	0
2					0			0	0	0	0
3					0			0	0	0	0
4					0			0	0	0	0
5					0			0	0	0	0
6					0			0	0	0	0
7					0			0	0	0	0
8					0			0	0	0	0
9					0			0	0	0	0
10					0			0	0	0	0

特 記 事 項
前年度と比べて個数の増減等変化が見られたものに対して明確な理由等がございましたらご記入下さい。

以上、ありがとうございました。

1. (1) 積地による集計結果(令和元年度)

積 地	実入コンテナ			空コンテナ			合 計			地域別 割合 (%)
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	1,026	3,824	8,674	2,310	9,545	21,400	3,336	13,369	30,074	3%
東北	6,286	31,025	68,336	2,579	8,199	18,977	8,865	39,224	87,313	10%
関東	19,537	54,726	128,989	8,647	25,081	58,809	28,184	79,807	187,798	21%
中部	7,315	27,392	62,099	3,440	2,446	8,332	10,755	29,838	70,431	8%
関西	23,014	49,894	122,802	33,868	61,407	155,111	56,882	111,301	279,484	31%
四国	17,282	9,423	36,128	3,755	5,531	14,817	21,037	14,954	50,945	6%
中国	19,841	63,339	146,519	2,189	4,169	12,374	22,030	67,508	157,046	17%
九州	7,224	14,356	35,936	4,098	5,260	14,342	11,322	19,616	50,554	6%

総計	101,525	253,979	609,483	60,886	121,638	304,162	162,411	375,617	913,645	100%
----	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

北海道：北海道

東 北：青森、岩手、宮城、福島

関 東：東京、神奈川、茨城、千葉

中 部：静岡、愛知、三重

関 西：大阪、兵庫、和歌山

四 国：香川、愛媛、徳島

中 国：広島、岡山、山口

九 州：福岡、大分、宮崎、鹿児島
熊本、長崎、佐賀

[積地港別]

北海道：苫小牧

東 北：仙台、小名浜、八戸、釜石、大船渡

関 東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島

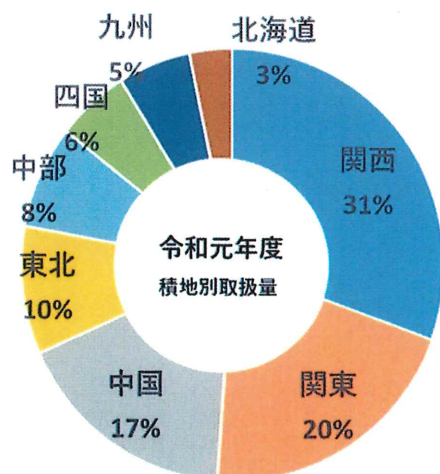
中 部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市

関 西：神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津

四 国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
高松、三島川之江、高知、東予

中 国：水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部、玉島、
福山、三田尻中関、防府

九 州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島
油津、八代、長崎、薩摩川内、伊万里、新門司



1.(2) 積地による集計結果 コンテナ（合計・実入・空）別 H29～R元年度比較

【合計】

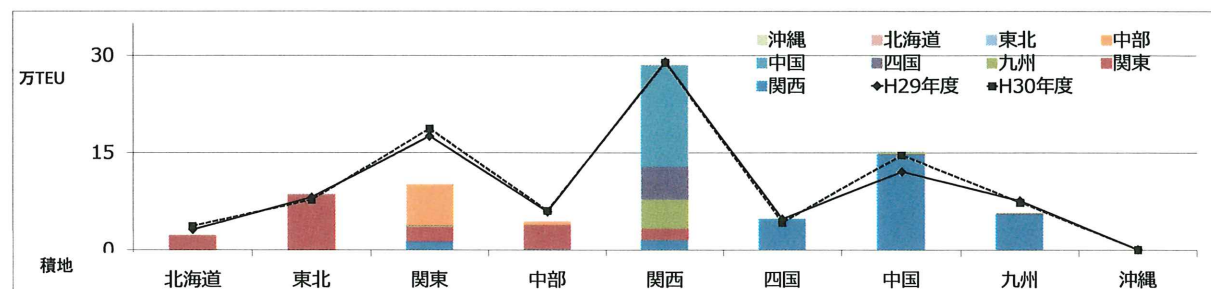
積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H29年度	H30年度	R元年度	前年比	前々年比
北海道		721	28,466	887						30,840	36,366	30,074	83%	98%
東北	61	505	86,697	42				8		80,426	76,792	87,313	114%	109%
関東	22,939	86,020	22,669	37,542	17,427	2	668	531		175,070	186,729	187,798	101%	107%
中部	425	0	63,892	5,127	852		92	43		58,653	60,245	70,431	117%	120%
関西	1		12,777	906	15,266	47,889	147,217	55,428		289,944	288,628	279,484	97%	96%
四国				100	50,753	0	86	6		47,090	41,735	50,945	122%	108%
中国		6	391	32	156,452		147	18		120,209	145,862	157,046	108%	131%
九州			1,541	24	44,852		3,078	1,059		75,332	72,941	50,554	69%	67%
沖縄										0	0	0	0%	0%
計	23,426	87,252	216,433	44,660	285,602	47,891	151,288	57,093	0	877,564	909,298	913,645	100%	104%

【実入コンテナ】

積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H29年度	H30年度	R元年度	前年比	前々年比
北海道		3	8,652	19						10,869	9,207	8,674	94%	80%
東北	4	0	68,330	0				2		65,081	59,054	68,336	116%	105%
関東	21,292	54,455	16,152	20,125	16,439	2	0	524		115,777	123,451	128,989	104%	111%
中部	425	0	58,097	3,483	53		0	41		51,079	52,651	62,099	118%	122%
関西	1		12,569	66	7,743	22,583	41,350	38,490		122,185	124,838	122,802	98%	101%
四国				0	36,122	0	0	6		31,018	30,722	36,128	118%	116%
中国		6	391	32	146,072		16	2		112,231	138,552	146,519	106%	131%
九州			1,537	2	34,397		0	0		52,487	50,628	35,936	71%	68%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	21,722	54,464	165,728	23,727	240,826	22,585	41,366	39,065	0	560,727	589,103	609,483	103%	109%

【空コンテナ】

積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H29年度	H30年度	R元年度	前年比	前々年比
北海道		718	19,814	868						19,971	27,159	21,400	136%	107%
東北	57	505	18,367	42				6		15,345	17,738	18,977	116%	124%
関東	1,647	31,565	6,517	17,417	988	0	668	7		59,293	63,278	58,809	107%	99%
中部	0	0	5,795	1,644	799		92	2		7,574	7,594	8,332	100%	110%
関西	0		208	840	7,523	25,306	105,867	16,938		167,759	163,790	155,111	98%	92%
四国				100	14,631	0	86	0		16,072	11,013	14,817	69%	92%
中国		0	0	0	10,380		131	16		7,978	7,310	12,374	92%	155%
九州			4	22	10,455		3,078	1,059		22,845	22,313	14,342	98%	63%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	1,704	32,788	50,705	20,933	44,776	25,306	109,922	18,028	0	316,837	320,195	304,162	101%	96%



2. (1) 揚地による集計結果(令和元年度)

揚 地	実入コンテナ			空コンテナ			合 計			地域別 割合 (%)
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	2,188	9,767	21,722	710	497	1,704	2,898	10,264	23,426	3%
東北	7,406	23,529	54,464	3,104	14,842	32,788	10,510	38,371	87,252	10%
関東	22,030	71,849	165,728	8,937	20,935	50,705	30,865	92,784	216,433	24%
中部	4,301	9,713	23,727	2,945	8,943	20,933	7,348	18,656	44,660	5%
関西	45,582	97,622	240,826	11,087	16,811	44,776	56,736	114,433	285,602	31%
四国	5,419	8,583	22,585	14,642	5,332	25,306	20,061	13,915	47,891	5%
中国	6,382	17,492	41,366	13,742	48,142	109,922	20,020	65,634	151,288	17%
九州	8,217	15,424	39,065	5,719	6,136	18,028	13,973	21,560	57,093	6%

総計	101,525	253,979	609,483	60,886	121,638	304,162	162,411	375,617	913,645	100%
----	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

北海道：北海道

東北：青森、宮城、福島、岩手

関東：東京、神奈川、茨城、千葉

中部：静岡、愛知、三重

関西：大阪、兵庫、和歌山

四国：香川、愛媛、徳島

中国：広島、岡山、山口

九州：福岡、大分、宮崎、鹿児島
熊本、長崎、佐賀

[揚地港別]

北海道：苫小牧

東北：仙台、小名浜、八戸、釜石、大船渡

関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島、千葉

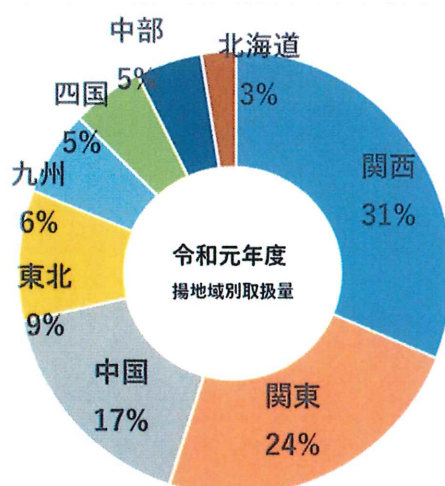
中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市

関西：神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津

四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
高松、高知、東予

中国：水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部
福山、三田尻中関、防府、玉島

九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、新門司
油津、八代、長崎、薩摩川内、伊万里、細島



2.(2) 揚地による集計結果 コンテナ (合計・実入・空) 別 H29～R元年度比較

【合計】

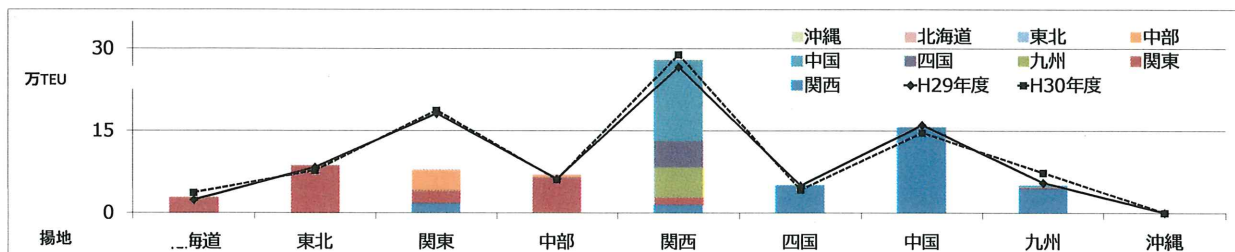
揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H29年度	H30年度	R元年度	前年比	前々年比
北海道			22,939	425	1					23,158	36,366	23,426	64%	101%
東北	721	505	86,020				6			82,782	76,792	87,252	114%	105%
関東	28,466	86,697	22,669	63,892	12,777		391	1,541		180,813	186,729	216,433	116%	120%
中部	887	42	37,542	5,127	906	100	32	24		61,267	60,245	44,660	74%	73%
関西			17,427	852	15,266	50,753	156,452	44,852		265,823	288,628	285,602	99%	107%
四国			2		47,889					49,477	41,735	47,891	115%	97%
中国			668	92	147,217	86	147	3,078		159,684	145,862	151,288	104%	95%
九州		8	531	43	55,428	6	18	1,059		54,560	72,941	57,093	78%	105%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	30,074	87,313	187,798	70,431	279,484	50,945	157,046	50,554	0	877,564	909,298	913,645	100%	104%

【実入コンテナ】

揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H29年度	H30年度	R元年度	前年比	前々年比
北海道		4	21,292	425	1					21,276	26,200	21,722	83%	102%
東北	3		54,455				6			54,986	51,402	54,464	106%	99%
関東	8,652	68,330	16,152	58,097	12,569		391	1,537		140,822	138,952	165,728	119%	118%
中部	19		20,125	3,483	66		32	2		27,585	25,113	23,727	94%	86%
関西			16,439	53	7,743	36,122	146,072	34,397		210,533	241,150	240,826	100%	114%
四国			2		22,583					27,114	17,386	22,585	130%	83%
中国					41,350		16			41,473	40,411	41,366	102%	100%
九州		2	524	41	38,490	6	2			36,938	48,489	39,065	81%	106%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	8,674	68,336	128,989	62,099	122,802	36,128	146,519	35,936	0	560,727	589,103	609,483	103%	109%

【空コンテナ】

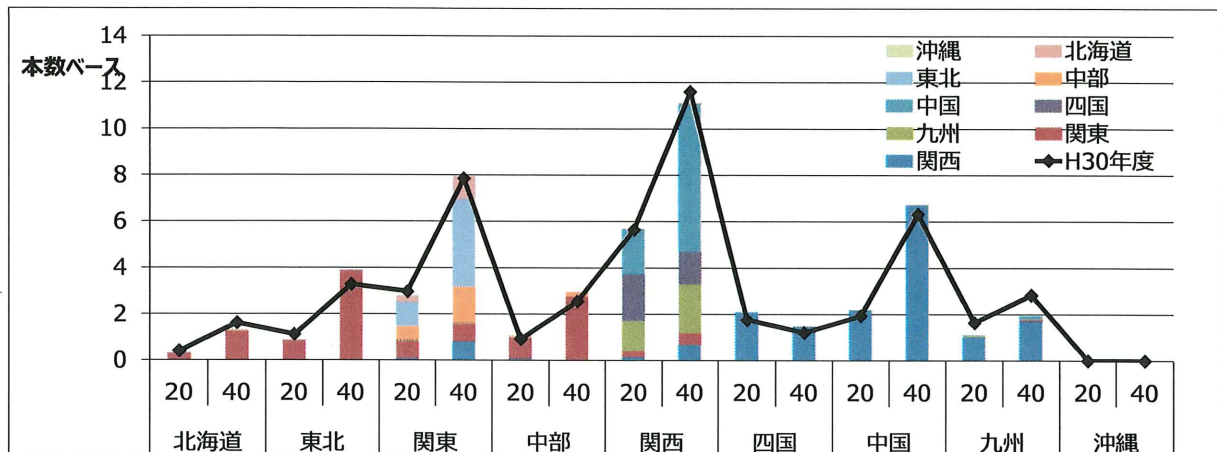
揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H29年度	H30年度	R元年度	前年比	前々年比
北海道		57	1,647							1,882	1,100	1,704	155%	91%
東北	718	505	31,565							27,796	22,869	32,788	143%	118%
関東	19,814	18,367	6,517	5,795	208			4		39,991	51,637	50,705	98%	127%
中部	868	42	17,417	1,644	840	100		22		33,682	35,952	20,933	58%	62%
関西			988	799	7,523	14,631	10,380	10,455		55,290	44,501	44,776	101%	81%
四国					25,306					22,363	20,530	25,306	123%	113%
中国			668	92	105,867	86	131	3,078		118,211	119,885	109,922	92%	93%
九州		6	7	2	16,938		16	1,059		17,622	23,721	18,028	76%	102%
沖縄									0	0	0	0	0%	0%
計	21,400	18,977	58,809	8,332	156,682	14,817	10,527	14,618	0	316,837	320,195	304,162	95%	96%



3. 積地・揚地・コンテナ（20・40）別による集計結果

(1) 積地別

積地/揚地	コンテナ(ft)	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H30年度	R元年度	前年比
北海道	20		85	3,250	1						4,016	3,336	83%
	40		318	12,608	443						16,175	13,369	83%
東北	20	5	43	8,775	42						11,202	8,865	79%
	40	28	231	38,961					4		32,795	39,224	120%
関東	20	2,889	10,382	7,287	6,132	1,049	2	320	123		29,663	28,184	95%
	40	10,025	37,819	7,691	15,705	8,189		174	204		78,533	79,807	102%
中部	20	3		8,780	1,041	848		44	39		9,183	10,755	117%
	40	211		27,556	2,043	2		24	2		25,531	29,838	117%
関西	20	1		2,591	76	1,528	20,059	19,485	13,142		56,492	56,882	101%
	40			5,093	415	6,869	13,915	63,866	21,143		116,068	111,301	96%
四国	20					21,035			2		17,587	21,037	120%
	40				50	14,859		43	2		12,074	14,954	124%
中国	20			19	32	21,918		49	12		19,310	22,030	114%
	40		3	186		67,267		49	3		63,276	67,508	107%
九州	20			163	24	10,358		122	655		16,415	11,322	69%
	40			689		17,247		1,478	202		28,263	19,616	69%
沖縄	20										0	0	—
	40										0	0	—
計		13,162	48,881	123,649	26,004	171,169	33,976	85,654	35,533	0	536,583	538,028	100%



(2) 揚地別

揚地/積地	コンテナ(ft)	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	九州	沖縄	H30年度	R元年度	前年比
北海道	20		5	2,889	3	1					3,682	2,898	79%
	40		28	10,025	211	0					11,809	10,264	87%
東北	20	85	43	10,382	0			0			11,773	10,510	89%
	40	318	231	37,819	0			3			31,249	38,371	123%
関東	20	3,250	8,775	7,287	8,780	2,591		19	163		29,875	30,865	103%
	40	12,608	38,961	7,691	27,556	5,093		186	689		80,357	92,784	115%
中部	20	1	42	6,132	1,041	76	0	32	24		8,651	7,348	85%
	40	443	0	15,705	2,043	415	50	0	0		26,207	18,656	71%
関西	20			1,049	848	1,528	21,035	21,918	10,358		53,573	56,736	106%
	40			8,189	2	6,869	14,859	67,267	17,247		116,039	114,433	99%
四国	20			2		20,059	0				13,760	20,061	146%
	40			0		13,915	0				12,078	13,915	115%
中国	20			320	44	19,485	0	49	122		21,852	20,020	92%
	40			174	24	63,866	43	49	1,478		69,222	65,634	95%
九州	20		0	123	39	13,142	2	12	655		20,702	13,973	67%
	40		4	204	2	21,143	2	3	202		25,754	21,560	84%
沖縄	20										0	0	—
	40										0	0	—
計		16,705	48,089	107,991	40,593	168,183	35,991	89,538	30,938	0	536,583	538,028	100%

